

令和6年度 上尾市立大石小学校 学校評価書

★自己評価の評価基準 A:できている B:どちらかと言えばできている C:どちらかと言えばできていない D:できていない

学校関係者評価の欄【 】内は、学校関係者評価委員(学校運営協議会委員)の皆様の評価

領域	学校の自己評価				学校関係者評価	
	自己評価の評価基準	主な方策	自己評価	○学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の意見・提言
I 教育目標の具現化・円滑な学校運営	1	学校(学年・学級)運営や学習指導、その他の教育活動の工夫改善に取り組み、学校教育目標(考える子、思いやりのある子、がんばる子)や目指す学校像(信頼あふれる学校)の具現化に向かって、前進している。	A	○学校は、教職員がチームワーク行動を発揮しながら、円滑な学校運営に向かおうとしている。 ○学校は、時代の変化に対応した教育課程の工夫改善、教育活動の創意工夫に努めている。	A	【A A A B A A A】 ○大規模校ならではの課題が多く大変かと思いますが引き続きよろしくお願ひ致します。また、組織の課題として上尾市から近隣市の情報提供を依頼しては如何でしょうか
	2	教職員それぞれが能力を発揮し、各自の分掌(役割)や各学年が連携・協力して、質の高い学校づくりを目指す体制を構築している。	B	◆大規模校で教職員の意識にも差がみられる。組織としての共通理解をさらに深める必要がある。	B	【B B A B A B B】 ○2.について保護者のアンケート結果でDが15.5%と多く感じている。
	3	災害や感染症等の危機に対して、児童の安心安全を確保する対応を適切に行っている。	A		A	【A A A B A A A】

領域	学校の自己評価				学校関係者評価		
	自己評価の評価基準	主な方策	自己評価	○学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の意見・提言	
Ⅱ 児童一人一人の学力を伸ばす学習指導の充実	4	教育課程や指導方法を工夫改善し、児童の主体的に学習に取り組む態度を高め、学力の定着に努めている。	・ねらいの明確化と振り返りの実施 ・導入5分の工夫、主体的・対話的で深い学びの充実	A	○学校課題研究を通して、算数科における授業力の向上を目指して取り組んできた。 ○授業はわかりやすいと回答している児童は97%。「わかった、できた」を実感できている児童が増えている。	A	【A A A A A A A】 ○学習指導研究発表会で授業を拝見しましたが、答えを出す過程を工夫されていて、児童の考える力を引き出す良い授業でした。
	5	学習用具の準備ができるように指導を充実させている。	・「大石小学校のきまり」の徹底 ・全教職員の共通理解と実践 ・学習準備の指導	A	○学校生活では、時間を意識した生活ができているが、家庭では守れていないと感じている保護者が2割ほどいる。	A	【A A A A A A A】
	6	時間を守る心が育つように指導を充実させている。	・「大石小学校のきまり」の徹底 ・全教職員の共通理解と実践 ・授業開始、終了時刻の厳守	A		A	【A A A A A A A】
	7	児童の読書の推進し、読書活動を充実させる。	・読書パスポートの活用 ・図書ボランティアによる環境整備	B	○図書館での貸出冊数を1人1回2冊に変更 ◆「家庭であまり読書をしていない」という意見が多い。読み聞かせ、読書パスポートの活用を推進する。	B	【B A B B A B B】
	8	コンピュータを活用する授業を推進し、充実させている。	・デジタル教科書や大型モニタの日常的活用 ・オンラインドリルの活用 ・プログラミング教育の実施	A	○オンラインドリルにより、家庭での活用を進めている。 ◆1年生の活用をさらに推進し、6年間を通してICT活用スキルを向上させる必要がある。	A	【A B A A A A A】
	9	英語に慣れ親しみ、主体的にコミュニケーションを図れる児童が育つように、外国語教育を充実させている。	・ALTとのコミュニケーションや連携 ・教師の授業力向上のための研修会の実施	B	○外国語授業力向上研修会を年2回実施。ALTと連携し授業を行っている。	B	【B B B B A B B】
	10	個に応じた指導を充実させている。	・個別最適な学びと協働的な学びの実現のための指導 ・学習の振り返りの実施	B	○算数科の授業力向上を目指し、ペアやグループでの協働的な学習を推進している。	B	【B B B B A B B】

領域	学校の自己評価				学校関係者評価		
	自己評価の評価基準	主な方策	自己評価	○学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の意見・提言	
Ⅲ豊かな心の育成	11	認め合い、支え合う学級づくりのために指導を充実させている。	・道徳的実践力の育成、心を揺さぶる授業の実践、 ・朝の会や帰りの会の充実 ・個を大切に評価	A	◆学校は、教職員が丁寧な言葉遣いやもくもく清掃を率先垂範し、人権意識の醸成と落ち着きのある生活ができるように、粘り強く取り組んでいく必要がある。	A	【A A A B A A A】
	12	正しい言葉をつかう心が育つように指導を充実させている。	・日常指導の充実 ・授業での実践(板書資料を保管) ・研修の充実、教員向け道徳通信の発行	B		B	【B B B B A B B】 ○12.について保護者のアンケート結果でCが26.4%と多いですが、家庭内での普段の教育の方が比重が高いと思います。
	13	もくもくと丁寧に掃除をする心が育つように指導を充実させている。	・日常の巡回指導 ・放送による啓発	A		A	【A B A B A B A】
Ⅳ体力の向上と健康教育の推進	14	体育授業において、児童が運動に親しみ、技能や体力を向上させる取組を充実させている。	・重点領域の設定、運動量の確保 ・体力向上目標値の達成	A	○体育の授業力向上を目指し、研修を行った。 ◆体力テスト結果では、県平均を下回る種目が多い。休み時間の遊びなど、日常的に体を動かす機会を増やす必要がある。	A	14【A A A A A A A】 15【B B B B A B B】 ○体力向上で、体力テストの結果で県平均を下回る種目が多いようですが体力テストに向けた練習機会の有無や学校の児童規模による統計調査による違いも考えられます。体育授業以外の外遊びの工夫を児童に考えさせる機会を模索し児童にも調査結果から考えさせることが必要に感じます。 ○体力テストは、体力だけではなくコツも必要なので事前のちょっとした練習で結果が出ると思います。
	15	体育授業以外の外遊び等で、児童が運動に親しみ、体力を向上させる取組を充実させている。	・外遊びの奨励(業間、昼休み等) ・鉄棒教室等の開催、自主的な運動の奨励	B		B	
	16	保健、歯科保健の取組を充実させている。	・保健学習・歯みがきタイム、フッ化物洗口の実施 ・学校保健委員会の開催 ・学校医等との連携	A	○食物アレルギーによる事故防止のために、対象児童の全保護者と管理職を含めた面談の機会を設定している。	A	【A A A B A A A】
	17	食に関する指導を充実させ、食物アレルギーによる事故防止にも丁寧に対応している。	・アレルギー対応マニュアルの実践 ・アレルギー対応児童の保護者面談 ・食育の充実	A		A	【A A A A A A A】
18	「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さの指導を充実させている。	・早寝 早起き 朝ごはんの啓発(長期休業前の学級指導)	B	○「早寝 早起き 朝ごはん」は、啓発も浸透し、保護者の意識も高くなってきている。	B	【B A B B A B B】	

領域	学校の自己評価				学校関係者評価		
	自己評価の評価基準	主な方策	自己評価	○学校としての考え ◆課題・改善点	関係者評価	学校関係者評価委員の意見・提言	
導Ⅴ ・児童 教育 相 談 に 基 づ い た 生 徒 指 導	19	あいさつをする心が育つように指導を充実させている。	・放送による呼びかけ ・職員による登校指導	A	◆あいさつについてのアンケートでは、評価は高くなっている。「自分から挨拶」できるよう、引き続き指導していく必要がある。 ○いじめ認知件数が増えている。組織的取組の成果といえる。学校生活アンケートを持ち帰って実施することで、家庭との情報共有ができる。	A	【A A A B A A A】 ○挨拶に関しては登下校時に元気よく挨拶をしている場面がありました。今後ご指導よろしくお願ひします。 ○スポーツクラブに入っている子供たちは比較的あいさつがよくできると思ひます。学校とスポーツクラブの違いは何でしょう。
	20	いじめ・不登校・問題行動の早期発見に努め、組織的な対応をするなど必要な対策をとっている。	・「いじめ見逃しゼロ」の取組 ・生活アンケートの活用 ・教育相談(事例研修等)の充実 ・ほっとルームの活用	A		A	【A A A A A A A】
研Ⅵ 教 職 員 の 充 実 の 資 質 向 上 を 図 る	21	教職員研修を積極的に推進し、教職員の資質を高め、指導力の向上を図っている。	・学校課題研究(算数科)の推進 ・年次研修や初任者研修を通じた授業力の向上	A	○学校は、算数科における学習指導の研究に取り組み、研究主題を「わかった、できたを実感し、自信を育てる算数科の授業づくり」として、指導力の向上と授業の充実に努めている。	A	【A A A B A A A】 ○職員のアンケート結果がBの53.7%と多いのでBにしました。
整Ⅶ 備 教 育 環 境 の	22	安全・衛生・美化の観点から施設や校舎内外を整頓し、整備を進めている。	・安全学習 ・安全点検 ・避難訓練、防災訓練 ・不審者侵入への対応 ・心肺蘇生法体験学習	A	○学校は、安全点検や校内巡視により、施設等の修繕等に努めている。 ◆下校班について検討。	A	【A A A A A A A】
とⅧ の 学 連 校 携 と の 保 護 進 者 、 地 域	23	学校の方針や取組、児童の様子などが伝わるように積極的に保護者や地域に情報を提供している。	・学校ホームページの充実 ・学校、学年だより等の発行 ・さくら連絡網の活用	A	◆学校は、ホームページ及びさくら連絡網を適切に使い分け、保護者・地域への発信を充実させる必要がある。	A	【A B A B A A A】 ○保護者のアンケート結果がそれぞれBの68%、66.6%と多いのでBにしました。
	24	コミュニティ・スクールとして学校応援団(保護者や地域住民・関係団体等)の協力を生かして、学校運営や教育活動を充実させている。	・学校運営協議会での熟議 ・PTA(おやじの会含む)、学校応援団等との連携	B	◆学校応援コーディネーターの配置	B	【B B B B B B B】 ○OSSRの自身の活動が地域の方々に周知されているかどうか、という点でまだまだ課題があるように思われます。